

No.161 2022.10.25 (令和4年) 	 支部だより あいかわ あつぎ あやせ えびな きよかわ ごま やまと	もくじ 1.....全国労働衛生週間 県央地区推進大会 2.....厚木労働基準監督署 からのお知らせ 3.....道選 4~5...健康CHANNEL 支部からのお知らせ 6.....ディスカバリーあつぎ
発行(公社)神奈川労働安全衛生協会厚木支部 編集:広報部会	E-mail: toi_12@roaneikyo.or.jp http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/atsugi/index.html	〒243-0018 厚木市中町3丁目1-7 TEL (046) 259-8118

「あなたの健康があってこそ 笑顔があふれる健康職場」

2022年度 全国労働衛生週間県央地区推進大会

令和4年度全国労働衛生週間県央地区推進大会を去る9月9日(金)レンブラントホテル海老名で開催いたしました。当初は海老名市文化会館における実会場での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止と参加者の皆様の安全を最優先に考え、集合形式の大会は行わず動画配信となりました。

厚木管内ハイヤータクシー安全協力会 渡辺会長より開会の辞を頂き、主催者代表として(公社)神奈川労働安全衛生協会厚木支部金川支部長、ご臨席賜りましたご来賓の厚木労働基準監督署畑野署長よりご挨拶を頂きました。



大会宣言は建設業労働災害防止協会 山本会長より宣言され採択となりました。

続いて厚木労働基準監督署安全衛生課小野課長より全国労働衛生週間実施要綱の説明がありました。

【全国労働衛生週間中に実施する事項】

【準備期間に実施する事項】

【過重労働による健康障害防止対策】等について説明頂きました。

陸運労災防止協会神奈川県支部厚木分会 新村分会長より閉会の辞を頂き、第一部を終了しました。



第二部の特別講演は独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター 城内 博先生をお迎えして「化学物質の大転換 法令準拠型から自律的な管理へー背景・自律的な管理の概要・対応ー」と題して

- * 「法令準拠型」から「自律的な管理」への背景
- * 自律的な管理：事業者の対応
- * 政省令改正概要

についてご講演頂きました。

～厚木労働基準監督署からのお知らせ～

1 最低賃金が改正されました

令和4年10月1日から、神奈川県最低賃金は、時間額1,071円（9月30日まで1,040円、引上額31円、引上率2.98%）となりました。神奈川県最低賃金は、県内の事業場で働く常用・臨時・パート・アルバイト等すべての労働者に適用され、使用者はこの金額以上を労働者に支払う必要があります。また、次の賃金は最低賃金の対象となる賃金には含まれません。

- ①精皆勤手当、通勤手当、家族手当 ②臨時に支払われる賃金
- ③1か月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与等） ④時間外、休日労働に対する賃金、深夜割増賃金

2 業務改善助成金のお知らせ

中小企業・小規模事業者等を対象に、事業場内最低賃金の引上げ及び設備投資等の一定の要件を満たした場合（事前に申請書・事業実施計画などを提出して審査・交付決定を受ける必要があります。）、その費用の一部を助成する「**業務改善助成金（通常コース）・（特例コース）**」を設けております。申請期限は令和5年1月31日（火）ですが、予算の範囲内で交付するため、期限内でも募集を終了する場合があります。お早めにお問い合わせください。

お問い合わせ

業務改善助成金についてご不明な点は、下記のコールセンターまでお問い合わせください。

業務改善助成金コールセンター

電話番号：0120-366-440（受付時間 平日 8:30～17:15）

その他詳細は厚生労働省ウェブサイトをご覧ください



業務改善助成金

検索

* 交付申請書の提出先は神奈川県労働局雇用環境・均等部 企画課です（045-211-7357）。

3 STOP！過労死 ～毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です～

週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は近年低下傾向にあるものの引き続き高く、依然として恒常的な長時間労働の実態が認められ、過労死等に係る労災認定件数も引き続き高水準で推移しています。このような状況の中、改正労働基準法において、時間外労働の上限規制が令和2年4月1日からは中小企業にも適用されました（建設業、自動車運転者、医師などの適用猶予業種・業務は令和6年4月1日から適用されます）。厚生労働省では、長時間労働の削減等の過重労働解消に向けた取組をより一層推進するため、過労死等防止啓発月間の一環として「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施し、使用者団体等への協力要請、リーフレットの配布、過重労働が行われている事業場などへの重点監督などを実施しています。

参加無料 [過労死等防止対策推進シンポジウム](#)

* 全国各地で11月開催です。申込先はこちらです。⇒



4 11月は「しわ寄せ」防止キャンペーン月間です STOP！しわ寄せ

大企業・親事業場による長時間労働の削減等の取組が、適正なコスト負担を伴わない短納期発注、急な仕様変更など下請等中小事業者への「しわ寄せ」を生じさせている場合があります。

「労働時間等設定改善法（平成4年法律第90号）」に基づき、事業主の皆様は、他の事業主との取引において、長時間労働につながる短納期発注や発注内容の頻繁な変更を行わないよう配慮する必要があります。次のような取組が行われるよう、社内に周知徹底を図りましょう。

- ① 週末発注・週初納入、終業後発注・翌朝納入等の短納期発注を抑制し、納期の適正化を図ること。
- ② 発注内容の頻繁な変更を抑制すること。
- ③ 発注の平準化、発注内容の明確化その他の発注方法の改善を図ること。



しわ寄せ防止
特設サイト



「〇〇の秋」

ミツミ電機株式会社
佐野 晶美

食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋…
秋という季節は「〇〇の秋」と表現されることが多



くありますが、みなさんが一番初めに思い浮かべるのはどんな秋でしょうか。私は本が好きなので、読書の秋が浮かびます。しかし、改めて考えてみると、読書は季節問わず出来るものです。それなのに、なぜ読書の秋という言葉がここまで定着したのでしょうか。ふと疑問に思った私は、その由来について調べてみることにしました。すると、思いがけず日本を飛び出すことになったのです。



読書の秋の由来は、中国の唐時代の詩人である韓愈(かんゆ)の漢詩の一説「灯火親しむべし」だとされているようです。これは「気候もよく夜が長い秋は、灯火の下で読書をするのに適している」という意味だそうです。この詩を夏目漱石が小説「三四郎」で引用したことをきっかけに、日本にも読書の秋という考えや習慣が広まったとされています。そして戦後間もない頃に”読書の力で平和を築く”という目的のもと「読書週間」が秋に開始されました。この読書週間は現在も毎年文化の日(11月3日)を中心に実施されていることもあり、読書の秋が定着したと考えられているようです。また、涼しくて湿度の低い秋の気候は、人間が集中して作業するのに適しているため、読書に最適な季節と言えるようです。

よく聞き慣れた言葉でも、その由来について調べてみると意外な発見があるものですね。普段読書をする機会の少ない方も、この「読書の秋」をきっかけに、ぜひ本を手にとってみてはいかがでしょうか。

そこで、おすすめの本を1冊ご紹介します。2021年に本屋大賞を受賞した町田そのこさんの「52ヘルツのクジラたち」です。タイトルにもなっている「52ヘルツのクジラ」とは、他の鯨が聞き取

れない52ヘルツという高い周波数で鳴くために、仲間たちに声を届けることが出来ない、世界で一番孤独だと言われている鯨のことです。この物語は、さまざまな傷を抱えた登場人物たちの孤独感や、伝えたくても伝えられない心の叫びなどが、52ヘルツのクジラと重ね合わせて描かれています。



主人公の貴瑚は、かつては52ヘルツの声(誰にも届かない声)をあげて泣いている子供でした。そんな貴瑚が大人になり、母親から「ムシ」と呼ばれ虐待されている少年に出会います。さまざまな事を諦め、声を発することも出来ない少年の52ヘルツの声を聞くために、貴瑚は周囲の人たちの手を借りながら奮闘します。



そして、貴瑚の壮絶な過去や、貴瑚を救ってくれたアンさんの存在、アンさんの苦悩なども徐々に明らかとなっていきます。

児童虐待が大きなテーマとなっているため、読んでいてつらい気持ちになる場面が多くありますが、最後には希望の光が見える作品です。

機会がありましたら是非読んでみて下さい。

「認知症予防～健診結果にご注目ください～」

日産自動車健康保険組合
テクニカルセンター地区健康推進センター
野田亜由美

皆様、こんにちは。産業保健委員会の野田と申します。

早速ですが、9月21日は『世界アルツハイマーデー』と制定され、9月は『アルツハイマー月間』として、各地で様々な啓発活動が催されていたのをご存知でしょうか？

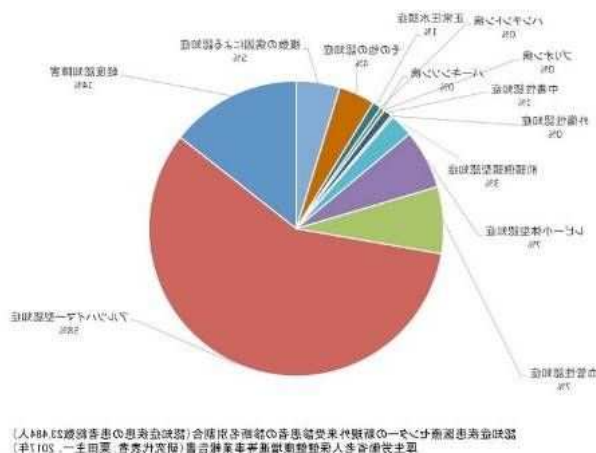
日本では、現在、65歳以上の約16%が認知症であると推計されていますが、わが国は世界一の長寿国であり、認知症と共に生きる高齢者の人口は今後も増加し、2025年には高齢者の5人に1人、国民の17人に1人が認知症になるものと予測されています。



出典：認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）

～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～の概要（厚生労働省）

認知症の約6割がアルツハイマー型認知症で、血管性認知症とレビー小体型認知症がこれに次ぐことがわかります（図1）。また、認知症の前駆段階で、軽度認知障害（MCI）と呼ばれる状態の方も数多くいらっしゃいます。



アルツハイマー型認知症をはじめとする多くの認知症疾患は進行性であり、認知機能障害や生活障害とともに、さまざまな精神的・身体的・社会的な健康問題が現れて、そのことが生活の継続を困難にさせる要因になります。しかしながら、新薬の開発は難航しており、今日の医療では、完治させることは難しく、症状の進行を遅らせるような治療が行われているのが現状です。

発症後の根本的な治療が難しい現状では、予防可能なリスク因子を減らすことが大切です。認知症の危険因子として「教育不足、高血圧、聴覚障害、喫煙、肥満、うつ病、運動不足、糖尿病、社会的接触の少なさ、過度のアルコール消費、外傷性脳損傷、大気汚染」などが挙げられていますが、皆さん、お気づきでしょうか？これらの中には、健康診断でわかる項目も多く含まれていますね？つまり、健康診断の結果から、自分の認知症リスクも把握できるということです。リスクを把握し、これらを改善すれば、認知症を予防することもできるということです。

具体的にどんなことをすれば良いかというところ…

- 1) 40歳前後から中年期に収縮期血圧130mmHg以下の維持を目指す
- 2) 難聴に対しては補聴器の使用を奨励し、過度の騒音曝露から耳を保護し難聴を軽減する
- 3) 頭部の怪我を防ぐ
- 4) 節酒を心掛ける
- 5) 禁煙する
- 6) 肥満と糖尿病を防止・治療する
- 7) 中年期以降の身体活動を維持する
- 8) 健康なバランスの取れた食事を心がける



ここで大事なことは、高齢になってからの生活習慣病よりもむしろ、中年期からのコントロールをおろそかにしていた場合に認知症発症のリスクが大きいということです。認知症の予防は、早めに介入できるに越したことはありません。

皆さん、認知症を予防し、健康寿命を全うするためにも、まずはできることから始めてみて下さい！

支部からのお知らせ

講習会開催予定

- 11月 9日(水) 安全管理者選任時研修
- 11月16日(水) 衛生推進者養成講習会
- 11月22日(火) フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
- 11月29日(火) 階層別KYT講習会(一般層向け)
- 12月 5日(月)・6日(火) 職長教育講習会
- 12月 9日(金) 安全衛生推進者養成講習会
- 12月14日(水) 階層別KYT講習会(一般層向け)

年末年始休暇のお知らせ

- 12月29日(木)～1月4日(水)まで
- 1月5日(木)より通常業務



「さがみグリーンライン自転車道」

AGCオートモーティブAMC株式会社
相模工場 小峯雄二

県道409号（相模川自転車道）は、国道129号の厚木市関口から国道134号の平塚市千石河岸に至る全長21kmの自転車道（自転車歩行者専用道路）を作る構想で、さがみグリーンラインと呼ばれている。

すでに完成している海老名運動公園から中野公園（2.6km）に加え、倉見付近まで新たに開通したとの情報を元にポタリングを兼ねて自転車で散策して来た。

スタート地点は小田急小田原線の相模川鉄橋付近で海老名運動公園からのアクセスは抜群に良い。



この道路は歩行者、自転車専用となりアスファルト舗装がされて道幅も十分に広がっている。公園に車を置いて、ペットとの散歩や自転車デビューした子供さんを安心して見守ることができるでしょう。当日も天気良く親子で散歩、ジョギング、自転車と各々楽しんでいる様子が印象的だった。また何もせずに土手に腰を下ろし相模川の先に見える大山や丹沢をぼーと眺めたり、運が良ければ富士山まで見ることができるこの場所ながらの楽しみ方もあるのだろうと思った。

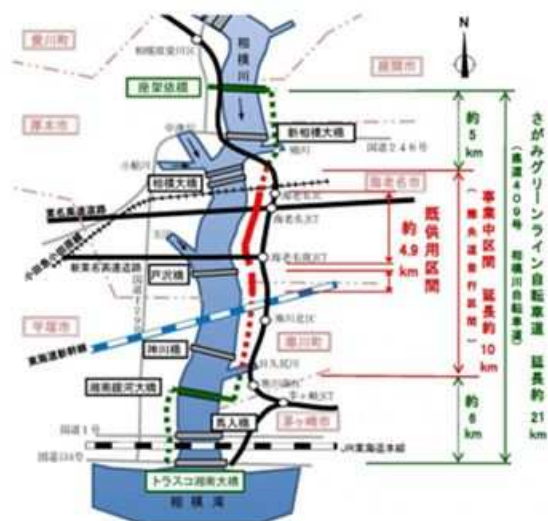


この区間の道路は圏央道の真横に作られておりジェットコースターのような海老名ジャンクションも間近に見えて何だかウキウキする。残念なのはまだ6km位しか気持ちよく走れる距離がなく自転車だと15分位で終了となってしまふ。

今はJR相模線の倉見駅付近からは工事待ちの状況。一方計画の始点である座架依橋付近もその兆候はないが、一般道と繋いで走ることができれば十分に楽しむことができる。

チャリダーが江ノ島・湘南へ行くルートとして、境川サイクリングロードなどが有名だが道幅がやや狭く交わる道路が数多く、気持ちよく走れる区間は多くない。

今回のさがみグリーンラインが全線開通すればかなり気持ちが良いサイクリングができるのは間違いないでしょう。ただ問題は完成までに自分が自転車に乗っていただけるかどうかである。



〔神奈川県HPより抜粋〕